



『～より質の高い公共調達を目指して 良い仕事をした者が報われる仕組み作り～』

－記者発表資料－

平成25年10月3日

四国地方整備局

平成25年度 第2回 四国地方整備局総合評価本局小委員会の開催結果

●平成25年度第2回四国地方整備局本局小委員会の開催結果について

平成25年度第2回四国地方整備局総合評価本局小委員会を平成25年9月30日に開催し、平成25年度の総合評価方式による本官契約の工事について提示し、その中から委員により抽出していただいた代表工事3件について具体的な総合評価内容の説明を行い、ご意見をお伺いしました。

また、平成25年度の総合評価方式、プロポーザル方式による本官契約の建設コンサルタント業務等について提示し、ご意見をお伺いしました。

これらの意見を参考に、総合評価方式等の審査又は評価が、より一層中立かつ公正に行われるよう今後とも努めて参ります。

【主な意見の概要】

- ・入札価格、落札価格ともに調査基準価格に近づいてきている。引き続き入札状況等の分析を行い、過度な価格競争に陥らないような総合評価落札方式の運用に努められたい。
- ・技術提案書の作成及びその評価については、オーバースペック問題も含めて、受発注者双方の負担が増大していると考えられるため、効率的な技術提案書の要請方法並びに評価方法について検討すること。

本局小委員会の概要

1. 日時：平成25年9月30日（月） 14:00～16:00
2. 場所：高松サンポート合同庁舎 13階1306, 07会議室
3. 出席委員：高柳聖英委員、渡邊法美委員、松島学委員
4. 議事次第・・・別紙－1
5. 議事概要・・・別紙－2

<問い合わせ先> 国土交通省 四国地方整備局 企画部

技術管理課長 石田 和敏 (内線3311)

技術管理課長補佐 田島 基彦 (内線3314)

【港湾空港部関係】

品質確保室長 三野 真治 (内線6413)

品質確保室課長補佐 高木 耕造 (内線6472)

日時：平成２５年 ９月３０日（月） 14:00～16:00

場所：高松サンポート合同庁舎1306, 07会議室

平成２５年度 第２回 四国地方整備局総合評価本局小委員会

議 事 次 第

1. 開 会

2. 報告事項

- 1) 平成２５年度の総合評価落札方式による契約結果等について

3. 審議事項

- 1) 平成２５年度の適用工事・業務（本官契約）について

- 2) 具体事例について

◆平成２５年度 新居海岸立石地区堤防改良工事(河川部)

平成２５年度 新居海岸池ノ浦地区堤防改良工事

平成２５年度 新居海岸甫湊地区堤防改良工事

◆平成２５－２６年度 田村高架橋上部東工事(道路部)

平成２５－２６年度 田村高架橋上部西工事

◆宿毛湾港池島地区防波堤（Ⅱ）築造工事(港湾空港部)

4. 閉 会

平成25年度第2回四国地方整備局総合評価本局小委員会 開催結果の概要

日時：平成25年9月30日 14:00～16:00

場所：高松サポート合同庁舎 13階1306, 07会議室

出席委員 高柳聖英委員、渡邊法美委員、松島学委員

I 報告事項

1) 平成25年度の総合評価落札方式による契約結果等について

II 意見聴取の対象

小委員会の役割が、複数の工事（総合評価方式）及び業務等（総合評価方式、プロポーザル方式）に共通する評価方法及び個別工事、業務等の評価方法や落札者の決定方法に関することに対して意見を聴取することを踏まえ、平成25年度の総合評価方式による工事61件（本官契約工事）について評価項目の内容等を提示。

また、平成25年度の総合評価方式、プロポーザル方式による建設コンサルタント業務等38件（本官契約業務）について提示。

【工事関係】

平成25年度対象工事

本官（本局）契約工事

H25.9.2基準日

	開札済み	手続き中	準備中	合計	備考
標準型（I型）	2件	0件	0件	2件	4月期 実施方針 （補正対応）
標準型（II型）	3件	0件	0件	3件	
小計	5件	0件	0件	5件	
技術提案評価型（S型）3テーマ	2件	1件	1件	4件	10月期 実施方針
技術提案評価型（S型）2テーマ	7件	3件	5件	15件	
技術提案評価型（S型）1テーマ	5件	5件	3件	13件	
施工能力評価型（I型）	0件	1件	0件	1件	
施工能力評価型（II型）	10件	6件	7件	23件	
小計	24件	16件	16件	56件	
総合計	29件	16件	16件	61件	

		特定・開札済み	手続き中	準備中	合計
業務	プロポーザル方式	11		6	17
	総合評価方式	19	1	1	21
役務	企画競争方式				0
合計		30	1	7	38

Ⅲ 主な意見の概要

- ・ 入札価格、落札価格ともに調査基準価格に近づいてきている。引き続き入札状況等の分析を行い、過度な価格競争に陥らないような総合評価落札方式の運用に努められたい。
- ・ 技術提案書の作成及びその評価については、オーバースペック問題も含めて、受発注者双方の負担が増大していると考えられるため、効率的な技術提案書の要請方法並びに評価方法について検討すること。